

長澤堤古

嘉永四年

長澤堤古

順付書

一併物入

二月廿三日

長庚市牛車結ぶるを
石垣廻るをうらなは
一坪より月へ刻書

一 人からのあはれみの
ほろけはるるをうらなは
一 坪より月へ刻書

ほろけはるるをうらなは
ほろけはるるをうらなは
ほろけはるるをうらなは
ほろけはるるをうらなは
ほろけはるるをうらなは

一 坪より月へ刻書

ほろけはるるをうらなは
ほろけはるるをうらなは
ほろけはるるをうらなは
ほろけはるるをうらなは
ほろけはるるをうらなは
ほろけはるるをうらなは
ほろけはるるをうらなは
ほろけはるるをうらなは
ほろけはるるをうらなは
ほろけはるるをうらなは

湯子

いねいしんふきあけり

一ふしりふたふたふた

いふふふふふふふふ

いふふふふふふふふ

一ふしりふたふたふた

いふふふふふふふふ

一ふしりふたふたふた

いふふふふふふふふ

一ふしりふたふたふた

いふふふふふふふふ

一ふしりふたふたふた

いふふふふふふふふ

一ふしりふたふたふた

いふふふふふふふふ

一ふしりふたふたふた

いふふふふふふふふ

一ふしりふたふたふた

いふふふふふふふふ

一ふしりふたふたふた

いふふふふふふふふ

一ふしりふたふたふた

いふふふふふふふふ

一ふしりふたふたふた

いふふふふふふふふ

一ふしりふたふたふた

いふふふふふふふふ

一ふしりふたふたふた

いふふふふふふふふ

一ふしりふたふたふた

いねのついでに水た
一とていふをきく

いねのついでに水た
いねのついでに水た

一とていふをきく
いねのついでに水た

一とていふをきく
いねのついでに水た

一とていふをきく
いねのついでに水た

一とていふをきく
いねのついでに水た

一とていふをきく
いねのついでに水た

一とていふをきく
いねのついでに水た

一とていふをきく
いねのついでに水た

一とていふをきく
いねのついでに水た

一とていふをきく
いねのついでに水た

一とていふをきく
いねのついでに水た

日教に云く、
一、
二、

三、
四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

十一、

十二、

十三、

十四、

十五、

十六、

十七、

十八、

十九、

二十、

二十一、

いねきまのりねき けね
一ふふふふふふふふ

いねきまのりねき
いねきまのりねき

一ふふふふふふふふ
いねきまのりねき

一ふふふふふふふふ

いねきまのりねき

一ふふふふふふふふ
いねきまのりねき

いねきまのりねき
一ふふふふふふふふ

いねきまのりねき
いねきまのりねき

一ふふふふふふふふ

いねきまのりねき

一ふふふふふふふふ

いねきまのりねき

一ふふふふふふふふ
いねきまのりねき

いねきまのうしろ 照りぬ

一 市川とよみとて

江ノ川とて人いふ

あはれとていふ

一 江ノ川とていふ

江ノ川とていふ

一 江ノ川とていふ

江ノ川とていふ

あはれとていふ

又 江ノ川とていふ

いねきまのうしろ

中納言

一 市川とよみとて

江ノ川とて人いふ

あはれとていふ

一 江ノ川とていふ

江ノ川とていふ

一 江ノ川とていふ

江ノ川とていふ

あはれとていふ

又 江ノ川とていふ

いねきまきん とうらね

一 とうらね

いねきまきん

いねきまきん

一 とうらね

いねきまきん

一 とうらね

いねきまきん

いねきまきん

一 とうらね

いねきまきん とうらね

一 とうらね

いねきまきん

いねきまきん

一 とうらね

いねきまきん

一 とうらね

いねきまきん

いねきまきん

一 とうらね

いねきまきん

いねの所は、
三吉の所は、

江ノ口、
江ノ口、

一、

江ノ口、

一、

江ノ口、

又、

江ノ口、

いねの所は、

三吉の所は、

江ノ口、

江ノ口、

一、

江ノ口、

一、

江ノ口、

又、

江ノ口、

いねのりやあまのり 五 中まのり

一 まのりやあまのり

いねのりやあまのり

いねのりやあまのり

一 まのりやあまのり

いねのりやあまのり

一 まのりやあまのり

いねのりやあまのり

一 まのりやあまのり

いねのりやあまのり

一 まのりやあまのり

いねのりやあまのり

一 まのりやあまのり

いねのりやあまのり

一 まのりやあまのり

いねのりやあまのり

一 まのりやあまのり

いねのりやあまのり

一 まのりやあまのり

いねのりやあまのり

一 まのりやあまのり

いねせりなぬき
いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

いねせりなぬき

日暮に病ふ所より言ふ血脈を
 分ちて病ふ之を言ひし
 久留まざるはけり之れ病の事
 眼みるも病をさへたり
 乙女あそびの心ありや
 左伝 病風

四叔七弟一八多三叔孫
一五推之弟下七弟七弟

江人方公多山人云
常山脈通於中

一、張乃如沙州軍人言

江口一草

[illegible]

行旅乃則舞下

不

去冬

一、紅印 江所必去之、
 一、紅印 江所必去之、

江ノ口

$\frac{1}{2}$
 $\frac{1}{2}$
 $\frac{1}{2}$
 $\frac{1}{2}$

いねね新にきくねふ
いふにけりあきなり

仁と利ね新の多き人
とて有る人けりねふ
けりねふけりねふ
法ねねねねね
けりねふけりねふ
けりねふけりねふ
けりねふけりねふ

いねね

いねねけりねふ

いねねけりねふ
けりねふけりねふ
けりねふけりねふ

いねねけりねふ

いねねけりねふ

いねねけりねふ

いねねけりねふ

いねねけりねふ

いねねけりねふ

いねねけりねふ

いねねけりねふ

いねねけりねふ

いねねけりねふ

いねねけりねふ

春

解上はわらわらけしむるを

けしむるをわらわらけしむるを

けしむるをわらわらけしむるを

けしむるをわらわらけしむるを

けしむるをわらわらけしむるを

けしむるをわらわらけしむるを

けしむるを

けしむるを

けしむるをわらわらけしむるを

けしむるをわらわらけしむるを

けしむるをわらわらけしむるを

けしむるをわらわらけしむるを

けしむるをわらわらけしむるを

けしむるをわらわらけしむるを

けしむるをわらわらけしむるを

けしむるをわらわらけしむるを

○ 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃

Handwritten notes in red ink, possibly a signature or date, located at the top of the page.

Handwritten text in red ink, likely a date or a short note.

Handwritten text in red ink, likely a date or a short note.

Handwritten text in red ink, likely a date or a short note.

Handwritten text in red ink, likely a date or a short note.

Handwritten text in red ink, likely a date or a short note.

Handwritten text in red ink, likely a date or a short note.

三

浪江島新島

[illegible]

八
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一、乃如之以下

但今所方々のホナリ月三
了結して下ぬれば其の
了結するなりと云ふこと

三月廿九日

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

江今抄本

一
ウ
きりやう

江
中
子
子
子

3

一、
...

[illegible]

石山先生
 石山先生

江ノ可之はあやう
にあらはれり
にあらはれり
にあらはれり
にあらはれり

江ノ村
江ノ村

江ノ口
中津川
下流

Handwritten text on a small slip of paper at the top right, partially obscured.

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

子助

一 江戸向ふおれ

江戸向ふおれ
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂

江戸

一 江戸向ふおれ

江戸向ふおれ
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂

一 江戸向ふおれ

江戸向ふおれ
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂

江戸向ふおれ
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂
江戸と石段坂

一日推方下、お方
但し、お方、お方、お方
お方、お方、お方、お方
お方、お方、お方、お方
お方、お方、お方、お方

一日推方下、お方
但し、お方、お方、お方
お方、お方、お方、お方
お方、お方、お方、お方
お方、お方、お方、お方

一日推方下、お方
但し、お方、お方、お方
お方、お方、お方、お方
お方、お方、お方、お方
お方、お方、お方、お方

一日推方下、お方
但し、お方、お方、お方
お方、お方、お方、お方
お方、お方、お方、お方
お方、お方、お方、お方

۲۰

۲۰

۲۰

ちふ

一 張きあうり、白い

紙、あうり、白紙、白紙

紙、あうり、白紙、白紙

一 張きあうり、白紙、

紙、あうり、白紙、白紙

紙、あうり、白紙、白紙

一 張きあうり、白紙、

紙、あうり、白紙、白紙

紙、あうり、白紙、白紙

一 張きあうり、白紙、

一 張きあうり、白紙、
紙、あうり、白紙、白紙

紙、あうり、白紙、白紙

紙、あうり、白紙、白紙

一 張きあうり、白紙、

紙、あうり、白紙、白紙

紙、あうり、白紙、白紙

一 張きあうり、白紙、

一、
何れはまゝに
あつた

ふいふはなをさ

今、
おれはなをさ
おれはなをさ

何れはまゝに
あつた

望、
おれはなをさ

一、
おれはなをさ

何れはまゝに
あつた

おれはなをさ
おれはなをさ

一、
おれはなをさ

何れはまゝに
あつた
おれはなをさ
おれはなをさ

一、
何れは其の如く
なり

二、
其の如くはなり

三、
其の如くはなり

四、
其の如くはなり

五、
其の如くはなり

六、
其の如くはなり

七、
其の如くはなり

八、
其の如くはなり

九、
其の如くはなり

十、
其の如くはなり

十一、
其の如くはなり

ねむる人 けふもたれ
けふもたれ

一 ちやうく

けふもたれ けふもたれ
けふもたれ けふもたれ

一 ちやうく

けふもたれ けふもたれ
けふもたれ けふもたれ

一 ちやうく

けふもたれ けふもたれ
けふもたれ けふもたれ
けふもたれ けふもたれ

一 ちやうく

けふもたれ けふもたれ
けふもたれ けふもたれ
けふもたれ けふもたれ

一 ちやうく

けふもたれ けふもたれ
けふもたれ けふもたれ
けふもたれ けふもたれ

一 ねんふく

ねんふく ねんふく
ねんふく ねんふく

一 ねんふく

ねんふく ねんふく
ねんふく ねんふく

一 ねんふく

ねんふく ねんふく
ねんふく ねんふく

一 ねんふく

ねんふく ねんふく
ねんふく ねんふく

一 ねんふく

ねんふく ねんふく
ねんふく ねんふく

一 ねんふく

ねんふく ねんふく
ねんふく ねんふく

一、**わ** **わ**

但もはわをふとて
はなれりしをふり
たれりしをふり

一、**わ** **わ**

はりしをふとて
はなれりしをふり
たれりしをふり

一、**わ** **わ**

はりしをふとて
はなれりしをふり
たれりしをふり

一、**わ** **わ**

はりしをふとて
はなれりしをふり
たれりしをふり

一、**わ** **わ**

はりしをふとて
はなれりしをふり
たれりしをふり

一、**わ** **わ**

はりしをふとて
はなれりしをふり
たれりしをふり

一
ワ
わ
り
ん

五

但丁の神曲

[illegible]

一
口
以
如
月

今之

一、
以爲人

可也

一
二
三

紅夜半外曉

三

但此之夜夢中，
范增亦不覺。

一

紅山石中
四切種

金一

明

合
田
之
言
中
外
之
事
無
不
知
也

高橋氏
信玄公

信玄公
高橋氏

Handwritten text on a small slip of paper, likely a label or note, written in cursive.

Handwritten text in cursive, possibly a list or a series of notes, written in red ink. The text is arranged in a vertical column.

Handwritten text in cursive, possibly a list or a series of notes, written in red ink. The text is arranged in a vertical column.

元

一後白雲が二つある

七五七

月夜をうきうきと

月夜をうきうきと

右の所をうきうきと

左の所をうきうきと

うきうきと

うきうきと

うきうきと

うきうきと

長江曉市
魚肥蟹美
一併
清和
卷八

一、此等文字，不可不讀。

一、
但今石上萬石、
沙石の多く、
ト、
大か、

一、
...
...

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、子孫のつと

江東のふゆふと

一、子孫のつと

江東のふゆふと

一、子孫のつと

江東のふゆふと

江東のふゆふと

一、子孫のつと

江東のふゆふと

一、子孫のつと

江東のふゆふと

一、子孫のつと

江東のふゆふと

一、子孫のつと

江東のふゆふと

一、子孫のつと

江東のふゆふと

一 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

一 江ノ口

江ノ口

一 江ノ口

江ノ口

一 江ノ口

江ノ口

江ノ口

一 江ノ口

江ノ口

一 江ノ口

江ノ口

一 江ノ口

江ノ口

江ノ口

一 江ノ口

江ノ口

江ノ口

一 江ノ下

江ノ下ノ下ノ下

一 江ノ下

江ノ下ノ下ノ下

一 江ノ下

江ノ下ノ下ノ下

一 江ノ下

江ノ下ノ下ノ下

一 江ノ下

江ノ下ノ下ノ下

一 江ノ下

江ノ下ノ下ノ下

一 江ノ下

江ノ下ノ下ノ下

一 江ノ下

江ノ下ノ下ノ下

一 江ノ下

江ノ下ノ下ノ下

一、新、人

信、日、之、新、人、新

一、新、人

信、日、之、新、人、新

信、日、之、新、人、新

一、新、人

信、日、之、新、人、新

一、新、人

信、日、之、新、人、新

一、新、人

信、日、之、新、人、新

一、新、人

信、日、之、新、人、新

一、新、人

信、日、之、新、人、新

一、新、人

信、日、之、新、人、新

信、日、之、新、人、新

ふりかへて
みれば

いふ

いふ

いふ

いふ

いふ

いふ

いふ

いふ

いふ

心
ちんらん

信る信るを信る
信る信るを信る

ちんらん

信る信るを信る
信る信るを信る
信る信るを信る
信る信るを信る

ちんらん

信る信るを信る

信る信るを信る
信る信るを信る
信る信るを信る
信る信るを信る

ちんらん

信る信るを信る

信る信るを信る
信る信るを信る
信る信るを信る
信る信るを信る

つれづれに
つれづれに

ふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

いふかたなり

いふかたなり

いふかたなり

いふかたなり

いふかたなり

いふかたなり

いふかたなり

いふかたなり

いふかたなり

いふかたなり

いふかたなり

いふかたなり

前水月軒

蘇東坡詩集卷之八

卷八

蘇東坡詩集卷之八

元

一 江に舟を乗せし

江に舟を乗せし

江に舟を乗せし

江に舟を乗せし

江に舟を乗せし

一 舟に舟を乗せし

舟に舟を乗せし

舟に舟を乗せし

舟に舟を乗せし

舟に舟を乗せし

舟に舟を乗せし

一 舟に舟を乗せし

舟に舟を乗せし

舟に舟を乗せし

一 舟に舟を乗せし

舟に舟を乗せし

舟に舟を乗せし

ふかゆふたも

一ふかゆふたも

ふかゆふたも

ふかゆふたも

ふかゆふたも

一ふかゆふたも

ふかゆふたも

ふかゆふたも

ふかゆふたも

一ふかゆふたも

ふかゆふたも

ふかゆふたも

一ふかゆふたも

ふかゆふたも

ふかゆふたも

ふかゆふたも

一ふかゆふたも

ふかゆふたも

ふかゆふたも

ふかゆふたも

江右之廟又
推之入白雲

右記 又助

一 江右之廟又

江右之廟又
丁陽之右位序故
坪新之推之入白雲
所之右位序故
人今之入白雲
人今之入白雲
人今之入白雲
人今之入白雲

一 江右之廟又

江右之廟又
丁陽之右位序故
坪新之推之入白雲
所之右位序故
人今之入白雲
人今之入白雲
人今之入白雲
人今之入白雲

一 江右之廟又

江右之廟又
丁陽之右位序故
坪新之推之入白雲
所之右位序故
人今之入白雲
人今之入白雲
人今之入白雲
人今之入白雲

一、口は難いもの

但、口は難いもの

口は難いもの

口は難いもの

一、口は難いもの

口は難いもの

口は難いもの

口は難いもの

口は難いもの

口は難いもの

一、口は難いもの

口は難いもの

口は難いもの

口は難いもの

口は難いもの

口は難いもの

口は難いもの

口は難いもの

一、口は難いもの

口は難いもの

口は難いもの

口は難いもの

口は難いもの

二六九

一、
〇

江ノ口より上へ
江ノ口より上へ
江ノ口より上へ
江ノ口より上へ

二七〇

一、
〇

江ノ口より上へ
江ノ口より上へ
江ノ口より上へ
江ノ口より上へ

二七一

一、
〇

江ノ口より上へ
江ノ口より上へ
江ノ口より上へ
江ノ口より上へ

二七二

一、
〇

江ノ口より上へ
江ノ口より上へ
江ノ口より上へ
江ノ口より上へ

一 新江ノ下

江ノ下丁内村に
所々移入す
うきやうき
江ノ下

一 新江ノ下

江ノ下丁内村に
うきやうき
江ノ下
うきやうき
江ノ下

一 新江ノ下

江ノ下丁内村に
うきやうき
江ノ下
うきやうき
江ノ下

一 新江ノ下

江ノ下丁内村に
うきやうき
江ノ下
うきやうき
江ノ下

一 新江ノ下

はつたふちをたふさふ

● くらふ

くらふくらふくらふ
くらふくらふくらふ

● くらふ

くらふくらふ

● くらふ

くらふくらふくらふ
くらふくらふくらふ
くらふくらふくらふ

● くらふ

くらふくらふくらふ
くらふくらふくらふ
くらふくらふくらふ

● くらふ

くらふくらふくらふ
くらふくらふくらふ
くらふくらふくらふ

● くらふ

くらふくらふくらふ
くらふくらふくらふ
くらふくらふくらふ

楚辭集

一

江上漁翁

一之

紅毛船之遊宴
船方紅毛星洲燈
火之方新到

一
好
久

卷一

紅粉佳人

一、

三

信

り
笑

抄本

仁

一ノ

中

何子白

五

江の口

一 江の口 出た

江の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口

一 舟の口

江の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口

一 舟の口

江の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口

一 舟の口

江の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口
舟の口 舟の口 舟の口

一 〇 〇 〇

江ノ口江ノ口江ノ口
江ノ口江ノ口江ノ口

一 〇 〇 〇

江ノ口江ノ口江ノ口
江ノ口江ノ口江ノ口
江ノ口江ノ口江ノ口
江ノ口江ノ口江ノ口

江ノ口江ノ口江ノ口

江ノ口江ノ口江ノ口
江ノ口江ノ口江ノ口
江ノ口江ノ口江ノ口

〇

江ノ口江ノ口江ノ口

江ノ口江ノ口江ノ口

江ノ口江ノ口江ノ口
江ノ口江ノ口江ノ口
江ノ口江ノ口江ノ口
江ノ口江ノ口江ノ口

江ノ口江ノ口江ノ口

いふにやうなうたは
うたはうたのうた

[illegible]

望溪集

2
東
山

心

江ノ口より舟をくだりて

又

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

江ノ口より舟をくだりて

人から出る物なり

い服も秋なり

沙州から出る物なり

わきまをうける

沈んで出る物なり

りさるる物なり

紅い物なり

金に色を出す物なり

十一
小豆飯 冷水が冬

押 冬 冬 押

十二
小豆飯 冷水が冬

あ

押 冬 冬 押

十三
小豆飯 冷水が冬

あ

押 冬 冬 押

十四
小豆飯 冷水が冬

押 冬 冬 押

十五
小豆飯 冷水が冬

押 冬 冬 押

十六
小豆飯 冷水が冬

押 冬 冬 押

十七
小豆飯 冷水が冬

押 冬 冬 押

十八
小豆飯 冷水が冬

押 冬 冬 押

十九
小豆飯 冷水が冬

押 冬 冬 押

二十
小豆飯 冷水が冬

あ

紅石福和川舟
とくまき結う舟

紅石福和川舟

紅石福和川舟

今石井のしりふ
りふ

〇ニト
紅石福

云乃を呼ぶ舟

〇ニト

紅石福のしりふ舟

〇ニト

紅石福のしりふ舟

〇ニト

紅石福のしりふ舟

〇ニト

紅石福のしりふ舟

〇ニト

紅石福のしりふ舟

日
 但

十一
小を水に水を加ふ

秤を三つ

小を水に水を加ふ

あふ

十二
小を水に水を加ふ

秤を三つ

あふ

十三
小を水に水を加ふ

秤を三つ

十四
小を水に水を加ふ

秤を三つ

十五
小を水に水を加ふ

秤を三つ

十六
小を水に水を加ふ

秤を三つ

十七
小を水に水を加ふ

秤を三つ

十八
小を水に水を加ふ

秤を三つ

十九
小を水に水を加ふ

秤を三つ



長久寺子結平七郎
丁卯月夜分

壬辰丁卯

卯辰丁卯 九時七刻

辰巳丁卯 十時

巳午丁卯 十一時

午未丁卯 十二時

未申丁卯 一時

申酉丁卯 二時

酉戌丁卯 三時

戌亥丁卯 四時

亥子丁卯 五時

十一 五ノ下 水ノ下 今ノ下

十二 五ノ下 水ノ下 今ノ下

十三 五ノ下 水ノ下 今ノ下

十四 五ノ下

十
あるは
あるは

1
楊子之山人筆

丁卯年
丁卯年

[illegible]

丁巳
丁巳

十
一

しつゝあふ
あふ

しつゝあふ
あふ

✓
沙石乃石
薛文

行方至天竺寺カニテ

乞

一 古に世に後人か沙のわう入
一 古に世に後人か沙のわう入
二人か沙のわう入
はねる古に世に沙のわう入
我らに世に沙のわう入
わらわら入

一 古に世に後人か沙のわう入

一 古に世に後人か沙のわう入

一 古に世に後人か沙のわう入

一 古に世に後人か沙のわう入

一 古に世に後人か沙のわう入

一 古に世に後人か沙のわう入

乞

一 古に世に後人か沙のわう入

一 古に世に後人か沙のわう入

一 古に世に後人か沙のわう入

福如海
之

一
張
書
卷
之
月
也
何
處
秘
藏
有
之
世
間
少
也

多
月

不
知
即
上
所
封

全
收
入
之
書
也
也

上ノ段下ノ段ノ位ノ記述

上ノ段下ノ段ノ位ノ記述

上ノ段

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

上ノ段ノ位ノ記述

亥

日知錄

三

はるさへちり

少

只如人言

乃白

月夜

聖

此是公手

後孝子

日暮人老

移居

三ノ宮

移今

リキミ

推古

日暮西山時

五、
六、

口由移六博三齊

事差より受
与より受

口砂信三傳之

ちんちんちんちん
ちんちんちんちん

口訣

五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

口砂挂正平

ちんちんちんちん

口砂粒上停

ちきんふたひ
上うきふたひ

口 孫子傳以各

らるるを
おとす

口語小傳

ちんちんもつておめ

17 卷之十七

卷之四 雜著 卷之四 雜著

けらる

けらる

0410

けらる

けらる

けらる

けらる

0410

けらる

けらる

けらる

けらる

0410

けらる

けらる

けらる

けらる

けらる